

## EU 柑橘類の輸入がオレンジ主導で増加

FreshFruitProtal 2023年7月17日

2022-23年度シーズンのEUの柑橘類輸入は、ほとんどの品目、特にオレンジで順調に進んでいる。2023年の1月から4月までの柑橘類の総輸入量は前年同期比21%増加し、56万6,897トンとなった。エジプトについては前年同期比で83%増となった。

オレンジがこの輸入の増加を主導している。特にエジプトからの輸入量は6月までに前年度比189%\*増加した。2022年9月から2023年6月までのEUへのオレンジの総輸入量は81万6,370トンで、前年同期比で40%増加した。(\*: 原文のままですが、[データの出典](#)(スペイン語)で確認できません。)

柑橘類の総輸入量(2022年9月から2023年4月まで)のうち、オレンジが51%を占め、小型の柑橘類が27%、レモンとグレープフルーツがそれぞれ11%及び10%を占めた。

**輸入先国** オレンジではエジプトが最大の輸入先であるが、柑橘類合計(9月~4月)では2022-23年度も南アフリカが全輸入量の31%を占めて首位であり、その輸入量は過去5年平均に対して28%増加した。エジプトからの総輸入量は同47%という驚異的な増加を見せ、ジンバブエが29%増、イスラエルが9%増と続いた。一方、中国が約36%減少し、アルゼンチン(-30%)、モロッコ(-23%)、トルコ(-20%)等も減少した。

### その他の柑橘類

レモンとグレープフルーツの輸入はオレンジほど順調ではない。今季(9月~6月)のレモンの総輸入量は23%減の23万4,547トンであった。グレープフルーツも12%減の17万1,465トンであった。南アフリカは、レモンとグレープフルーツの両方についてEUへの主要な供給国である。

## 南アフリカ 柑橘類の出荷のピークを前に今年のダーバン港は順調

FreshPlaza 2023年7月18日

先週、ムプマランガ州のロングトム峠で柑橘類を積んだトラック数台が雪の中で立ち往生したが、雪はすぐに溶け、大きな被害はなかった。バーガーズフォート地域とオリグスタッド地域ではで晩生のマンダリンの収穫がほぼ半分完了しており、生産者らは、これまでのところ大変良いと言う。梱包施設では、休むことなく作業が続けられている。

バーガーズフォートの柑橘類生産者であるスミット・ル・ルー氏は、「寒さは間違いなく発色の促進に役立ったが、オリグスタッドとバーガーズフォートはより涼しい地域であり、気温は時折13°C未満に下がるので、我々にとって発色はそれほど問題にならない。雪が降った後では夜の気温が非常に低かったが、低温被害の報告はまだ聞いていない」と語った。

物流面では、今シーズンは特に問題なく、時々冷蔵施設がいっぱいになるが、すぐに出庫されている。

同氏は、「今後2、3週間以内に、バレンシア種と晩生マンダリンの大部分が入荷し始める。それは通常、問題が発生し始める時である。しかし、今のところすべてが順調に進んでいる」と言う。

### 港湾当局への賞賛

同じバーガーズフォート地域のある梱包施設のマネージャーは、「ダーバンでは前年のような混雑はなく、トラックは手配することができる。通常、ダーバンでは毎年、洪水が発生したり、他の何かおかしいことが起きたりしてストップがかかる」と言う。このマネージャーは、南アフリカの業界は今のところ堅調な量の荷を動かしており、「ここまで問題なく来たので、港の関係者に敬意を表さなければならないと思う」と述べた。

最近頻繁に発生しているトラックへの放火がまた起こった。バーガーズフォート/オリグスタッド地域からのトラックではないが、ネルスプロイト地域からダーバンに柑橘類を運ぶトラックが放火されたとの報告がある。

執筆者:キャロライズ・ヤンセン